

AGARA

紀伊民報

2016年5月23日《月曜日》



思い出に残るプロポーズがしたい。

婚約指輪から空間・演出まで、あなたのプロポーズをお手伝い

I-PRIM

無料相談
実施中!
[ホーム](#) [ニュース](#) [スポーツ](#) [特集](#) [コラム/社説](#) [釣り](#) [生活情報](#)

サイト内検索

検索

[オリコンスタイル](#) | [芸能](#) | [音楽](#) | [映画・アニメ](#) | [経済](#) | [関連ニュース](#)

ホーム > オリコンスタイル >

ORICON STYLE オリコンが提供するエンタメニュース

『プロポーズの言葉コンテスト2016』最優秀賞が決定

[いいね!](#) [シェア](#) 0 [ツイート](#)

NPO法人地域活性化支援センター主催『第10回全国プロポーズの言葉コンテスト2016』の審査発表が19日、都内で行われ、千葉県在住の川隅由貴子さんによる「私がお婆ちゃんになっても手を引いて一緒に山を登ってくれますか?」が最優秀賞に選出された。

<昨年>最優秀賞の『プロポーズの言葉』とは?

最優秀賞に輝いた川隅さんは、この言葉をつづった思いについて「2人の共通の趣味が登山で、体力のない私をいつも引っ張ってくれる彼が大好きで、いつまでも一緒に登山を楽しみたいと思ったからです」と説明。「とてもうれしく思います。ありがとうございました」と喜びをかみしめた。

同コンテストは、少子化対策への貢献を目的に2007年よりスタートし、毎年6月第1日曜日の「プロポーズの日」にちなんで開催。今年で10回目となった同コンテストには、過去最多となる4029点の応募があった。

昨年から引き続き、20代から30代前半を中心とした若い男性からのプロポーズの言葉が増加。主催者側は「男性を中心にプロポーズのセレモニー・イベント化が定着してきているようです。また、踏み切れない男性の背中を押す力強い女性の姿も浮かび上がってきています」と分析している。

審査員はファッションデザイナーの桂由美氏、華道家の假屋崎省吾氏ら。ゲスト審査員にタレントの春香クリスティーン、IMALUが参加した。また同日は、春香が「恋人の聖地親善大使」に任命され、任命証授与式が行われた。

■過去3年の最優秀賞

2015年：「いまは不良債権だけど、そのうち当たりの宝くじになるかもしれんけん…。もらって!」(女性→男性)

2014年：「まいもの25年保証。契約更新してもいいかな?」(女性→男性)



『第10回全国プロポーズの言葉コンテスト2016』ゲスト審査員の春香クリスティーン (C) ORICON NewS inc.

文字サイズ: [小](#) [中](#) [大](#)

RS

サイトマップ

マンション管理会社変更後の
値下げ成功率100%
の実績

年間削減額

1,524,000円

の事例もあり。

提供: 合人社

役立つ無料資料はこちら

紀伊民報から

- 購読のご案内
- お悔やみ情報サービス
- 東京地区の販売
- 新聞広告の案内
- リンクについて
- ネットワークの著作
- 個人情報保護方針
- 会社案内
- アクセス

ニューストップ5

- 日本有数のマグロ基地 勝浦漁協が経営不振で解散
- 「痩せた」とテレビで紹介 梅干しの注文殺到
- 国体選手が高校教諭に 経験生かし後進指導
- 安価に泊まれるゲストハウス 古道歩きに人気
- 沢にベニマダラ すさみ町和深川

「心」大切に・・・

Memorial

いざという時慌てない、しきたり等の情報満載